

第6回 公開講座

講
題
『歎異抄』を
読んで
みましょう

釈

しゃく

徹宗

てっ

しゅう

浄土真宗本願寺派如来寺住職



2025年

師

5月10日(土)

開演14時 受付開始30分前
(講座は約2時間を予定しています)

聴講料：500円

今年も開会に富山教区合唱団の『コール菩提樹』による合唱があり、その後にご講演をいただきます。

広く一般の方にも開かれた講座ですので、みなさんの参加をお待ちしています。

富山別院(東別院) 富山市総曲輪2丁目8-29 TEL:076(421)3272

✿ 講師からのメッセージ ✿

みなさん、『歎異抄』という書をご存知でしょうか。

『歎異抄』は、親鸞から直接教えをうけた者が書いた書物です。内容は、前半が親鸞生前の語録、後半は異なる解釈を是正しようとする論述になっています。筆者は河和田の唯円だと考えられています。

この書物は、多くの近代知識人たちを魅了してきました。たとえば西田幾多郎は、関東大震災で被災し家が全壊したとき、「自分は『臨濟録』と『歎異抄』さえあれば生きていける」と周囲に語ったそうです。ほかにも、司馬遼太郎や吉本隆明、遠藤周作や梅原猛など、『歎異抄』に惚れこんだ人は数知れません。

『歎異抄』を読んでみると、当時「自分の信者を囲い込んだり」「信者から金品を要求したり」「他の宗教・宗派の人と争ったり」した人たちもいたことがわかります。それに対して、「みんな如来の弟子なのだから、自分の弟子だなどと囲い込んだりしてはいけない。出入りは自由であるべきだ」「金品の寄付の要求は厳しく諫められるべきである」「他派との対話につとめねばならない」といった内容が述べられています。現代のカルト教団問題にも通じる話ですね。

今回は、この『歎異抄』をご一緒に読みながら、成立背景や特徴的な内容についてお話していきます。

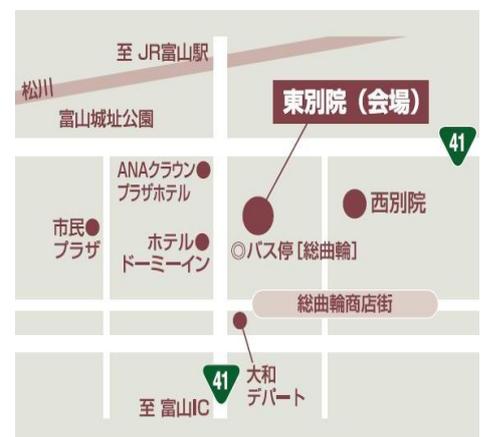
講師プロフィール

相愛大学前学長。宗教学者。日本宗教学会常務理事。浄土真宗本願寺派如来寺住職。NPO法人リライフ代表。宗教思想や宗教文化の領域において、比較研究や学際研究を行っている。

論文「不干斎ハビアン論」で涙骨賞（第五回）、著書『落語に花咲く仏教 宗教と芸能は共振する』で河合隼雄学芸賞（第五回）、また仏教伝道文化・沼田奨励賞（第五十一回）を受賞している。

近著に『喜怒哀楽のお経を読む』（朝日選書）、『住職さんは聞き上手』（晶文社）など。

富山別院のおもな年中法要・行事	
1月1日	初参り・初鐘の集い 【修正会】
1月15日	富山別院開基厳如上人御忌法要
3月	春季彼岸会 ※春分の日を中日とし、前後3日間
7月29日 ～31日	暁天講座
8月1日	戦死・戦災死者追弔法要兼申経法要 「八・一法要」
9月	秋季彼岸会 ※秋分の日を中日とし、前後3日間
10月6日 ～8日	富山別院報恩講
11月27日 ～28日	宗祖親鸞聖人御正忌法要「ご満さん」
毎月15日	開基上人御命日 定例法座



【交通／アクセス】
JR線「富山駅」南口より
徒歩 15分
車 5分

※駐車場には限りがございます。
満車時お近くの有料駐車場を
ご利用ください。

